

Vol.18

Bridge

KINJO GAKUIN UNIVERSITY Parents'Association Report
金城学院大学 父母会会報 [ブリッジ18号] 2022.8



特集インタビュー

6学部総合女子大学として
次のビジョンを描く



INTERVIEW
01 学長
小室 尚子

6学部がひとつとなり 新しい人材や価値を創造します

金城生の現在の様子について

現在、コロナ禍による影響はほぼ収束し、キャンパスは平常を取り戻しつつあると感じています。コロナ禍がはじまった2020年度に入学し今年度3年生になった学生は、入学式が中止になりキャンパスでの大学生活を楽しむことも友達をつくる機会も制限されたため、心配いたしましたが教職員の方々の親身な対応や創意工夫により、大きな混乱もなくこの2年を乗り越えられたと思います。私の授業に出席している3年生たちを見ても、他学年の学生と同様に明るく生き生きと学修に取り組んでいます。私たち教職員が想像していた以上に彼女たちは逞しいかもしれません。先生方の試行錯誤により行われたオンライン授業には、メリットもデメリットもあるようですが、それによって蓄積したノウハウは貴重な大学の財産です。学生の意見も参考にしながら、今後の授業でも柔軟に活用していければと思っています。国際交流活動についてはまだコロナ禍の影響が残っています。海外からの短期留学生は、例年なら30人ほど在籍していますが今年度はわずか3人です。海外への派遣留学生も例年の半分強という状況です。コロナ禍による海外渡航は国により条件やリスクが異なるため、非常に歯痒い状況ですが安全を最優先に早く通常に戻ることを願っています。

小室 尚子(こむろ なおこ)プロフィール

◎学位:神学修士(M.Div./Th.M.) ◎研究分野:キリスト教歴史神学、宣教学(キリスト教の日本における土着化の問題、キリスト教受容を困難にする日本人の精神構造の分析・研究) ◎金城学院中学校・高等学校を経て、金城学院大学文学部卒業。東京神学大学と米国ウェスタン神学校で神学修士号取得(M.Div./Th.M.)、日本基督教団井草教会・富士見町教会牧師、東京女子大学准教授を経て、2009年金城学院宗教総主事・教授、2020年金城学院大学学長、2021年金城学院院長に就任。

生まれ変わったキャンパスについて

看護学部の開設に伴い新W5棟と旧校舎跡地の整備が完了し、ようやくキャンパスリニューアルも終了いたしました。全学部の教育研究環境が整い、学生の学修意欲をかき立てる快適で美しい森の中のキャンパスとなりました。2020年8月に竣工したE1棟には、学内最大規模(当時)となる300名収容の大講義室があります。2020年3月、E1棟の建設中にコロナ禍になりました。大学から大講義室が廃止されていく世の中の流れに逆らった判断ではありますが、実際にソーシャルディスタンスを確保した対面授業や、教職員の会議などに重宝し、大変役立っています。今後もこの大空間をフレキシブルに活用していく考えです。

看護学部開設への想いについて

「看護」という考え方や行動は、キリスト教の教えとともに普及・発展してきた歴史的背景があります。そのため、以前から本学に看護学部を開設したいという声は上がっており、コロナ禍で予定が1年遅れましたが、今年度ついに開設することができました。これにより6学部体制の総合女子大学としての基盤がより強固になったと思います。看護学部開設にあたり、看護学や社会医学をはじめ専門分野の第一線で活躍してこられた素晴らしい教育者や研究者が集まっています。学部生はまだ1年生しかいないため、授業や大学生活に不安を抱いたり戸惑ったりすることも多いと思いますが、信頼の置ける先生方が学部生を適切にフォローしてくださるものと安心しています。他大学の看護学部や看護専門学校も、しっかりととした理念の下で運営しておられます。本学の看護学部にはキリスト教の精神という揺るぎない根柢があり、それが他校との大きな違いです。看護学部の先生方には、建学の精神「福音主義キリスト教に基づく、女性への全人教育」と大学の存在意義「互いの尊厳を認め、互いを生かしあえる愛に基づく社会をつくる」への理解を深めていただき、学部生の指導に取り組んでいただきたいと思います。そのために、看護学部の学科会議に毎回出席し、本学の伝統や校風、キリスト教主義大学についてお話をさせていただいております。看護学部の先生方も朝の礼拝などへ積極的に参加してくださり、大変嬉しく思っています。

6学部体制となった金城学院大学のビジョンについて

本学の看護学部は「グローバルな看護力の醸成」を視野に入れているため、文学部の英語英米文化学科や外国語コミュニケーション学科、国際情報学部などの連携が深まっていくでしょう。また、保健・医療・福祉に寄与する人材育成という面では、薬学部、人間科学部多元心理学科やコミュニティ福祉学科、生活環境学部食環境栄養学科との接点も多く、学部間の共同・協力に期待しています。各学部の卒業生が同じ職場の仲間として手を取り合い、人や社会に貢献する未来も現実としてあり得ることでしょう。6学部13学科の学生たちが、学修分野の垣根を越えて横断的につながることで、ユニークな人材や新しい発想、モノやサービスなどが誕生し、より豊かな社会を創っていく信じています。

浅井 邦昭(あさいくにあき)プロフィール

◎文学部長/文学部外国語コミュニケーション学科 教授 ◎学位:文学修士 ◎所属学会:日本中国学会、東方学会 ◎研究分野:清代文学理論研究 ◎金沢大学に進学後、文部省交換留学制度を利用して上海の復旦大学に留学。金沢大学卒業後は名古屋大学大学院で文学修士を取得。2002年、金城学院大学に着任し、2022年、文学部長に就任。 ◎趣味は落語、映画、ドラマ鑑賞。学生と話題のドラマについて感想を話すこともあります。NHKの朝の連続テレビ小説を題材にした演習授業もおこなっている。

INTERVIEW
02 文学部長
浅井 邦昭

人を“ひとりの存在”として 認めることを学びの出発点に

文学部の学びの特徴や強みについて

文学部は大学設立時の英文学部を前身としており、本学の歴史とともに歩んできました。他大学と違い、本学の文学部は音楽芸術学科があることに特徴があります。学生が広く言語や文化について学び、芸術分野にも関心が広がるよう「文学部リバラルアーツ」を設置しています。このプログラムは、より豊かな人間性を育むことをコンセプトに、学科の垣根を越えて文化や芸術を学ぶことができます。たとえば「金城シネマ」では、動物、ダンス、葬式などをテーマに、世界各地の映画を鑑賞し、その背景を深く考え、作品構造の見極め方を学びます。ふたりの教員がトーク形式で作品を解説するため、各国の歴史や民族性、メンタリティに対する見識を広げると同時に、日本社会や自分自身に対する認識を再確認できます。こうした文学部の教育の背景にあるのは、やはり「福音主義キリスト教の精神に基づく、女性への全人教育」です。学生のみなさんには、人間を社会的な「役割」で捉えるだけでなく、「ひとりの存在」としてどう生きていくか考えてほしいと思っています。自分のアイデンティティを支える確かな教養を身につけることで、10年後20年後の大きな社会変化にも対応できるに違いありません。

コロナ禍における授業や学部生のフォローについて

2020年度前期はオンライン授業が中心となってしまい、文学部でも外国語学習や演奏などトレーニングを必要とする授業で、不自由を感じる場面がありました。後期からは対面授業が増えていき、2021年度は全学でオンライン授業3割、対面授業7割ほどになりました。その7割を文学部ではトレーニングや演習の授業に優先して割り振っています。急なオンライン授業には、学生も教員も最初はとまどいました。しかし、映像コンテンツを繰り返し見て復習することで、自分のペースで授業に取り組めるため、まじめな学生ほど深く理解できるというメリットもありました。また、対面授業を欠席しても学ぶ機会を確保できます。コロナ禍前は身近ではなかったオンライン授業は、この2年間の蓄積により学びの選択肢を広げました。そうはいっても、現在の3年生たちは、コロナ禍の大きな影響を受けています。この2年あまり、



対面での指導が十分にできない分、各アドバイザーは担当学生へ積極的にコンタクトを取ってきました。現在でも面談は対面とオンラインの双方を活用し、極力お互いの顔が見える状態で話しあい、大学生活への不安を解消するように努めています。

看護学部開設についてのお考えと今後の展望について

総合大学では、研究領域の横断的な学びは必要だと考えています。看護学部ができたことで、文学部としても新たな学びの機会を得られました。本学の看護学部は国際性も重視しており、文学部教員としても学修の連携を期待しています。それは単純に看護学部の学生への語学教育ということにとどまりません。翻訳アプリなど技術の進歩で言葉の壁はいずれ乗り越えられる日がくることが予想されます。しかし異なる文化背景を持つ人を深く理解するためには、多様な世界を体験し、相手の文化に関する幅広い知識と理解が必要です。文学部ではこうした経験を重視しており、看護学部生にも学んでもらう機会を提供したいと考えています。一方で、看護師を目指す学生から刺激を受けて、文学部生も改めて人間とは何かを考えることで、自分のキャリア形成に良い影響をもたらしてくれることに期待しています。



古寺 浩(こでら ひろし)プロフィール [撮影場所]W3棟前ビロティ階

◎生活環境学部長／生活環境学部 生活マネジメント学科 教授 ◎学位:教育学修士 ◎所属学会:日本家政学会、日本消費者教育学会、IFHE(国際家政学会) ◎研究分野:生活学科、生活経済学、教育学 ◎静岡大学大学院教育学研究科で修士号を取得。1992年金城学院大学に着任、2022年生活環境学部長に就任。◎趣味は旅行。航空券やホテルなどの手配を自ら行い、低コストで豪華な旅を楽しむ達人。格安旅行のコツやお得な情報を学部生に伝授している。

身にも思わぬ効果をもたらしました。予習・復習などに有効活用できるコンテンツですから、本学部の教員間でオンライン授業のメリット・デメリットを話し合い、アーカイブは今後の学修に生かしていくと考えています。

看護学部開設についてのお考えと今後の展望について

看護学部は金城らしい学びのフィールドだと思います。私自身も以前より看護学部の設置を望んでおり、それが実現してとても嬉しいというのが率直な感想です。歓迎しています。しかも看護は本学部と無関係ではありません。たとえば2か月に1回通院している私自身の経験として、まず看護師のケアを受け、栄養士から食事の指導を受け、薬局で薬剤師から薬をもらいます。看護学、管理栄養学、薬学それぞれの専門家によって健康を支えていただいている。学びの場でも連携していくことは十分考えられ、実際に大学院では、薬学と生活環境学がひとつの傘の下で研究を行っています。近い将来、本学部、薬学部、看護学部の卒業生たちが同じ職場でチーム医療を展開することも十分考えられ、そういう日が来ることを心から願っています。

04 国際情報学部長 牛田 博英

オンライン授業を生かした ハイブリッド型授業を構想中

国際情報学部の学びの特徴や強みについて

本学部はモノづくりや実験、調理など実習が多く、授業のオンライン化は大きな課題でした。幸いにも学部専用の施設に関しては、責任を持ってコロナ対策を行えば柔軟に対応しても良いことになったため、できる限り対面授業を行いました。学生の不安を和らげるため、30名収容の演習室で10名程度の演習を運営したり、クリスマス関連の学内行事に誘ったりと積極的にコミュニケーションの機会をつくりました。また、キャンパスに来られない学部生には、対面授業を録画・配信して自宅で勉強できる環境も整えました。授業の録画は、何度も自分で視聴して講義の進め方、話し方、仕草などを客観的に見て改善につなげます。私自

実施し、研修先は北米やアジアなど7つの国と地域から学部生が選びます。例えば、アメリカではハリウッドで映画制作を体験します。現地の映画制作専門学校では現役で活躍するプロから技術を学び、ユニバーサルスタジオのバックヤードで撮影を行います。カンボジアでは農村に滞在して現地の人々と交流を深めたり、地雷撤去活動を行っている日本人や現地の地雷被害者の話を聞いたりします。どのプログラムも実践的な学びを重視しており、参加後は明らかに成長し、協調性やリーダーシップを身につけて帰国してくる学部生が多いと感じます。

コロナ禍における授業や学部生のフォローについて

授業のオンライン化については、もともと本学部の専門分野であったためスムーズに実施できたと思います。以前からパソコン必須の対面授業があり、オンライン環境やデジタル機器の操作に習熟した教員が多いこともありとくに混乱は見られませんでした。しかし、学部生のことは常に心配でWeb会議ツールを使用したライブ授業では、今の様子や心境を聞くようにしてきました。また、2020年度のオンライン授業の評価を検証するため、学部生にアンケート調査を行ったところ、良いと思った: 64.9%、悪いと思った: 26.6%となり、良いと評価された授業が約40ポイント高いという結果でした。今回オンライン授業のために作成した講義の映像は、アーカイブとして再利用することを考えています。また、これを機に新たな学修スタイルとしてオンラインと対面を組み合わせた「ハイブリッド型授業」の構想を描いています。学部生は授業の前にオンライン上の映像で予習し講義内容を把握し、当日の対面授業では意見交換や討論をメインとする授業方法です。互いにアイデアや意見を交わしてこそクリエイティブな発想や発信力の素養となりますし、予習をすることで能動的な行動を習慣づけるきっかけにもなると思います。

看護学部開設についてのお考えと今後の展望について

「強く、優しく。」を教育スローガンに女性への全人教育を行う本学にとって、看護学部はとてもふさわしい学部だと感じています。看護学部はグローバルな視点で患者と向き合える看護師の養成を目指しており、実際の医療現場では外国人患者と接するケースは増えています。彼らの考え方を理解するためには、彼らの国の歴史や文化のバックグラウンドを理解する必要があります。本学部の学びに通じることから連携の可能性は大いに考えられます。また、本学部生も看護学部生の思いやりの心や献身の精神などから刺激を受け、自分の強さや優しさの探求に生かすことができたら嬉しく思います。



川瀬 正裕(かわせ まさひろ)プロフィール [撮影場所]E1棟階段

◎人間科学部長／人間科学部 多元心理学科 教授 ◎学位:教育学修士 ◎所属学会:日本心理臨床学会、日本児童青年精神医学会、日本心理学会など 現在、愛知県公認心理師協会会長 ◎研究分野:児童思春期の心理臨床、障害児とその家族への援助、地域における心理臨床活動 ◎1981年国際基督教大学大学院教育学専攻で修士号を取得。2004年金城学院大学に着任。2020年人間科学部長に就任。◎趣味は料理。スパイスからこだわるバーチキンカレーは最近完成の域に達した。家族の誕生日やクリスマス料理を担当。

05 人間科学部長 川瀬 正裕

看護学部生との交流を 学修やキャリア形成の新たな刺激に

人間科学部の学びの特徴や強みについて

本学部は、幼稚園、保育園、小中学校の教育者を養成する「現代子ども教育学科」、人間の営みや育ち、ストレス社会への適応と「こころ」の傷つき支援を心理学の視点で学ぶ「多元心理学科」、社会福祉士の養成に加えて社会へ積極的に関わる女性を育成する「コミュニティ福祉学科」の3学科を展開しています。いずれももしくは社会と密接に関わる人材育成を目指しており、個々の授業では様々な社会現象や社会が抱えている課題を取り上げ、学生の問題意識を醸成しています。私自身も、病院での心理臨床をはじめ教員や幼稚園教諭や保育士との相談指導などを行っているので、実際に子どもたちの現場で何が起きているのか、社会はどのように動いているのかを学生たちにフィードバックしています。どの学科においても教員は今起きている問題や情報をリアルタイムに伝えるためのアンテナであり、生きた教育を目指して学生たちを指導しています。



牛田 博英(うだ ひろひで)プロフィール [撮影場所]E2棟前キャノピー

◎国際情報学部長／国際情報学部 国際情報学科 教授 ◎学位:工学博士 ◎所属学会:AAAI、電子情報通信学会、人工知能学会、情報処理学会、IEEE ◎研究分野:知能情報システム、学習アルゴリズム、ヒューマンインターフェース ◎神戸大学大学院で修士課程を修了後、名古屋大学大学院工学研究科で博士号を取得。国内の大手電機メーカーに就職して研究開発に取り組み、2003年金城学院大学に教員として着任。2019年国際情報学部長に就任。◎趣味は映画鑑賞。以前は映画館に通い、毎月平均5~6本観ていた。

コロナ禍における授業や学部生のフォローについて

オンライン授業は、すべての教員が初めて体験することでした。リモート用コンテンツをつくる際は、学生の反応を直接感じられないことがもっとも困難な点でした。これでいいのか、学生にしっかりと伝えられるのか、手探りで取り組んできました。2020年度の新入生は通学できないまま大学生活がスタートし、誰も周りにいない状態で不安を抱える毎日だったと思います。ひとり暮らしを始めた学生はとくに心細かったことでしょう。やはり対面授業で学生同士一緒に机を並べながら「これってどうだろう? 私はこうするけど」といった些細なやりとりで安心したり、新しいアイデアが生まれたりするのですが、それができずにひとりで学習意欲を維持することは大変だったと思います。制限がある中、教員たちはできる限り対面授業の機会を大切にして学生とコミュニケーションを取るように努め、学生の情報を共有するようにしていました。糸余曲折したオンライン授業ですが、そこには新たな発見もありました。これは大学院の授業ですが、カウンセリングの模擬実習をオンラインで行った時、学生の顔を正面から録画したことや表情の変化や視線の動きをはつきり把握することができ、本人も自分の表情を客観的に見ることで改善と進歩に大変役立ちました。この手法はぜひ今後も取り入れていきたいと考えています。

看護学部開設についてのお考えと今後の展望について

看護学部はキリスト教の精神を礎とした本学にふさわしく、人と関わる人材育成という点において代表的で専門性の高いフィールドです。本学の存在意義を具現化するうえで、より強固な基盤ができると思います。学部間の連携については、まだ初年度のため今すぐ何かを行うことは考えていませんが、将来的にKIDSセンターや心理臨床相談室などで看護学部とジョイントした取り組みができるのでは、とイメージしています。また、看護学部の教員たちによる子どもや高齢者の身体に関する指導にも期待しています。今すぐ授業の連携がなくても、学部生たちはこれから大学祭やサークル・クラブ活動などで、看護学部生と交流することが増えるでしょう。こういった機会を大切にし、学部を超えた生涯の友人や仲間と出会えることを願います。

**INTERVIEW
06****薬学部長
永津 明人****看護学部との連携で
チーム医療のスキルを高めたい****薬学部の特徴や強みについて**

本学部の学修スタイルの特徴として「屋根瓦方式」があります。1~3年の学生が少人数で集まり、上級生が下級生に自ら学んだことを教えながら問題解決に取り組むスタイルです。下級生は自ら学ぶ姿勢を習得するとともに、先輩に質問や相談をする、他者の意見を聞いて理解する、自分の考えをしっかりと述べるなど、医療現場で行われているチーム医療に不可欠なスキルを養っていきます。また、上級生は後輩への教育・指導を通してリーダーとしての資質を磨いていきます。そしてもうひとつの特徴が「女性に特化した薬学教育」です。性差のある病気・疾患は圧倒的に女性の方が多い、生理に関連した体調不良や冷え症など女性特有の症状もあります。そうした悩みや不安を理解し、きめ細かく対応できる女性薬剤師の養成をめざしています。この他にも女性の関心が高い化粧品やサプリメントなどの会社と連携した授業を行い、実践力を養います。

コロナ禍における授業や学部生のフォローについて

オンライン授業は、オンデマンドのコンテンツを繰り返し視聴することで習熟度を高めることに効果がありました。ただ、やはりひとりでいる孤立してしまい、自分がやっていることに自信が持てず、不安になってしまふ落ち込む学生もいました。また、理解するポイントが少しずれている学生がいた場合、対面授業であればその場で指導して修正できますがオンライン授業では不可能です。そのため学生に会う機会を大切にして積極的に声をかけました。また、全学で枠が限られていた対面授業は、優先的に1年生と6年生の授業に割り振りました。1年生には一日でも早く友人をつけてキャンパスライフを楽しんでもらうため、6年生には国家試験に向けて集中して取り組んでもらうための配慮でした。本学部は実験、実習科目が多いうえチーム医療を想定しているため、コロナ禍による制約がなくなければ対面授業が基本となります。ただし、教員の出張などでやむを得ず休講になった場合の補講授業は、夕刻の5、6限など変則的な時間帯に対面で行うより、オンライン授業のノウハウを柔軟に活用していくこともあり得るでしょう。

看護学部開設についてのお考えと今後の展望について

薬学と看護学はとても近い分野ですので、それぞれの立場で医療について議論したり、生活環境学部食環境栄養学科の管理栄養士の視点も交えて、一緒になって授業ができれば良いと思っており、その意向はすでに看護学部長に伝えてあります。とくに低学年の段階で、役割や立場の異なる人と理解を深めていく経験ができれば、各々の専門分野を追究していくうえでプラスになると思います。医療現場では薬剤師と看護師がディスカッションしたり、情報共有することが当たり前です。看護師のセオリーや心情を知っていると、先読みして業務にあたることができ、より高度な人材としてチーム医療に貢献できるだろうとイメージしています。また、看護学部生に対しては、薬の扱い方や注意事項など薬剤師のセオリーを学ぶ機会を用意できればと考えています。



永津 明人(ながつ あきと)プロフィール [撮影場所]薬用植物園温室

◎薬学部長／薬学部 薬学科 教授 ◎学位：薬学博士 ◎所属学会：日本薬学会、日本生薬学会、和漢医薬学会、アメリカ化学会など ◎研究分野：生物活性植物成分の単離・構造決定、天然機能性食品・食品添加物に含まれる微量成分の同定・生葉・既存添加物成分の定量法の確立 ◎名古屋市立大学大学院薬学研究科で博士号を取得、同大学院薬学研究科講師を務める。2005年金城学院大学に着任し、2019年薬学部長に就任。 ◎趣味は子どもの頃から乗り鉄。コロナ禍で暫く楽しめていないが、落着いていたら近隣の私鉄を乗り潰そうと考えている。

**INTERVIEW
07 看護学部長
市川 誠一****次代を支える看護師として
豊かな人間性と対応力を育む****看護学部の学びの特徴や強みについて**

1年次前期から看護コミュニケーション論などの看護専門科目、8月には病院での臨地実習、後期2月には地域療養体験実習と、早期に看護としての学びを体験・学修します。「模擬患者」による看護面接演習は、患者とのコミュニケーション能力の醸成を重視している本学の特色と言えます。また、1年次から4年次の臨地実習は、各専門領域の看護実践に加え、チーム医療を学ぶ場でもあります。4年次のチーム医療論では、薬剤師、管理栄養士、社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師を養成する他学部の教員の応援をいただき、多職種との連携・協働への理解を深めます。さらに、外国人患者への対応や海外活動を想定したグローバルな学びにも力を入れ、1年次の英語コミュニケーションに続き、2年次からは看護の現場で生かせる看護英語コミュニケーション科目を履修します。この他、疾病・病態・治療論などの科目には3名の医師教授を擁しています。また、本学の整備されたIT環境をいかし、デジタルテキストや動画を活用した講義や看護技術演習、臨地実習記録を支援するクラウド型実習支援システムも導入しています。電子カルテをはじめとしたICT*化が進む医療現場に対応して、在学中からICTツールの活用に習熟していきます。

コロナ禍における授業や学部生のフォローについて

看護学部1回生に4月から対面授業が行えたことは幸いでした。感染予防の手は緩めず、授業を行う際は323名収容の大講義室を活用し、学生同士の距離を十分にとっています。1回生は学生生活について相談したりアドバイスを請える先輩がないため、不安や迷いを感じていると思います。その気持ちに少しでも寄り添えるよう私たちも積極的に話しかけ、また些細なことでも気軽に相談しやすいように学生と年齢の近い教員にもフォローをお願いしています。アドバイザー制度では、私も2人の教員で6人の学生を担当しています。学部生たちが気軽に研究室を訪問できるよう、他愛もない会話を楽しんだり真剣に相談に乗ったりしています。学部全体で先輩がいないことが不利にならないように努めています。5月の雨の日に廊下ですれ違った学部生から



市川 誠一(いちかわ せいいち)プロフィール [撮影場所]W5棟エントランスラウンジ
◎看護学部長／看護学部 教授 ◎学位：博士(医学) ◎所属学会：日本看護学会、日本感染症学会、日本疫学会、日本公衆衛生学会、日本看護教育学会など ◎研究分野：社会医学、エイズの疫学と予防対策、感染症疫学。◎社会活動：厚生労働省や愛知県、東京都など自治体のエイズ対策委員会に参画。◎医学系・看護学系の大学教員を務め、看護師教育にはほぼ40年。看護学部開設準備のため2019年金城学院大学に着任し、2022年看護学部長に就任。◎趣味は温泉旅行、エイズ研究は後継者にバトンタッチし、今は若手研究者やNGOの活動を見守るもの楽しみのひとつという。

「ロッカールームに叢立てが欲しいです」と要望があり、これを機に学部生の声を吸い上げる投書箱を設けることにしました。学部生には快適で楽しい大学生活を過ごしてもらいたいです。そして、教員と学部生で一緒になって、金城学院大学ならではの看護学部を築いていきたいと思います。

看護学部の今後の展望について

本学は全学部が共通して、豊かな人間性を育むことを学びの基礎としており、「キリスト教学」「多文化共生社会」「異文化コミュニケーション」など、他者への理解を深める科目や自己理解を深める学修が充実しています。また、英語教育では文学部(英語英米文化学科ほか)、薬理学、栄養学などの科目では薬学部、生活環境学部、人間科学部、そしてグローバル視点の教育では国際情報学部から協力をいただき、総合大学ならではの看護学教育が展開されます。学部生には、130年余りの女子教育の実績を有する総合大学での学びを生かし、人を思いやるこころや人としての優れた資質を身につけ、自分らしい看護師像を描き追い求めてほしいです。そして、すべての人々に、平等に、差別なく、保健・医療・福祉を提供する社会を支える看護職者になってほしいと願っています。

*ICT=Information and Communication Technology 情報通信技術

コンセプトは「学びの森」 新W5棟、2022年3月完成

もっとも自然が深いキャンパス西側に位置し、周辺の森と調和する美しい外観です。近接するW1棟、W2棟の木調デザインを踏襲し医療系学部としての統一感を図りました。講義・演習・実習・研究などに必要な施設を設置し、最適な学びの環境を創出。実習室には最新の視聴覚設備を備え、またICU、4床病室、高機能生体モデルなどを用い、現場に近い状況で看護を学べます。基礎的な看護技術を身につける学修は1年次前期から行います。

【施設紹介】

- ◎4床病室 ◎成人看護学実習室※
- ◎ICU(集中治療室) ◎小児・母性看護学実習室※
- ◎基礎看護学実習室 ◎スタッフ・ステーション※など
- ◎精神・高齢者・ 在宅看護学実習室 ※写真は掲載していません



INTERVIEW
08 MESSAGEご父母の皆様へ
メッセージ

金城学院大学学長 小室 尚子

父母会会員の皆様には、学生への奨学金や課外活動、また教員の研究活動への助成など、本学の教育や研究に多大のご支援をいただき深く御礼申し上げます。さらには、2021年度卒業記念品として、マーケットパラソル、ガーデンテーブル&チェアセットを寄贈いただきました。キャンパス東側の芝生広場に設置され、美しい景観を醸成し、ランチタイムや授業の合間に学生たちが楽しそうに憩う姿を見ることができます。心より感謝いたします。

KMP21の完成に加え、今年度4月にはキャンパス西側の新W5棟と東側の旧校舎跡地の整備が完了し、すべてのキャンパスリニューアルを終えました。学生たちが快適に過ごす空間と、学修効率と効果を高める

文学部長 浅井 邦昭

勉強も、もちろん大事ですが、生活のさまざまな場面で興味のあるアンテナを広げて、新しい世界にどんどん飛びこんではしいと思います。たとえば、家と大学とを行き来するだけでなく、途中下車して駅周辺を散策してみるはどうですか？新たな発見や経験から得る感動は、大きな財産となって将来の充実した社会人生につながります。ご家族には本人の好奇心を応援し、様々な経験を積む機会を提供する手助けをお願いいたします。

生活環境学部長 古寺 浩

試験前だけでなく普段から、学内に残って資格取得に向けて自習している学部生の姿をよく見ます。ひとつの建物に実験や実習の教室がまとまり、遅くまで課題に取り組んでいる仲間を目にすることが増えたため、それが刺激になって「私も残って勉強していく」という雰囲気が生まれたのかも知れません。ご父母の皆様には、お子さまの主体的に学ぼうという姿勢を尊重し、ご家庭でもそういう環境をつくるいただきたいと思います。

国際情報学部長 牛田 博英

本学部は語学力やITスキルなど専門的な力を身につける学部ですが、実践的なプロジェクト型の授業が多く、社会に出て働くために必要な能力、協働力、リーダーシップ、コミュニケーション力、プレゼンテーション力などのスキルを養います。これらの能力は、どのような仕事にも必要な普遍的なものです。多くの能力を身につけて社会に貢献できる人を育てていきますので、ご父母の皆様もお子さまの頑張りを見守ってあげてください。

環境に、看護学という新たな教育研究領域が加わって、本学は次の時代に向けて第一歩を踏み出しました。本学を長くご支援くださる方の中には、理系学部の増設に抵抗を感じる方もいらっしゃるかと存じますが、本学の建学の精神である「福音主義キリスト教の精神に基づく、女性への全人教育」は変わらず堅持し、教育と研究の一層の発展を目指してまいります。キリスト教精神に基づく女性のための理想的な教育を追及し、広い教養、高い専門的知識、的確な判断力など、社会で生きる上での強みを持ちながら、隣人に対して愛をもって接することのできる優しさを身につけた女性の育成、これらはすべての学部の根幹にあります。女性が自分の力をどのように發揮していくのか、どうリーダーシップをとっていくのか、そのための方法や選択肢が増えたと受け止めていただきご理解を賜りたいと存じます。

金城学院大学は6学部を擁する総合大学となりました。これだけならとくに珍しいことではないでしょう。しかし、ひとつのキャンパスに文系と理系の学部が集う女子総合大学は、本学の強みです。学生たちにとって研究領域が異なる学生との出会いがあり、刺激が生まれます。学部間の緊密な連携も期待でき、新しいものを創り出す可能性が広がりチャレンジの機会も増えます。先生方には積極的に他学部と交流いただくよう働きかけており、今後、他学部の見学や互いの学部について知るための交流会などを行っていきたいと考えています。広く学び、体験する。それは必ず、キャリア形成のプラスになり社会に貢献できる大きな力になります。ご父母の皆様もお子さまが幅広い視野を持ち、自発的に学修していくよう、対話や助言などを行っていただけますと幸いです。

人間科学部長 川瀬 正裕

学部生のみなさんには、自ら何かを始めたり、自分なりに課題を見つけて追究したりなど、積極的に行動してほしいと思います。大学の勉強だけでなく、ボランティアやアルバイトも自主性や積極性を高める機会になります。いろいろな体験やキャンパス以外の多様な人々とのふれあいが、人間的な成長につながります。ご家庭におかれましては、コロナ禍で制限を受けてきたなおさら、お子さまがアクティブに活動できるようにご家庭でも手を差し伸べてあげてください。

薬学部長 永津 明人

薬学の専門的なスキルは、世界の人々の健康と福祉に貢献するとともに、自分や家族の健康づくりという身近なところでも役立ちます。病院・薬局の薬剤師、製薬会社や化粧品メーカーの研究者、医薬情報担当者、保健所・衛生研究所・科捜研の公務員、治験コーディネーター、麻薬取締官など、卒業後の道は多彩です。ご家庭ではお子さまが何を考え、どんな進路をイメージしているのかを把握・理解し、ご本人にあった道に導いてあげていただければと思います。

看護学部長 市川 誠一

大学は学生に開かれた場所であり、自己研鑽のために、教員、学修設備、図書館などの施設を積極的に利用してほしいです。在学中はこの環境を思う存分活用し、自分を高めていってください。看護の専門家としてだけでなく、多くの本を読み、友と語り合い、常に探究心をもって行動して、人間性を磨いてほしいと思います。ご父母の皆様にはお子さまの大学生活に興味をもち、大学の環境を積極的に活用するようにアドバイスなどを願いします。

KINJO GAKUIN UNIVERSITY

CAREER SUPPORT CENTER

キャリア支援センターの特徴・強み

キャリア支援センターが実施する就職支援プログラムは、3年生(薬学部は5年生)から本格的にスタート。前年度の就職状況の実態や今年度の分析、履歴書の書き方、業界・企業研究、グループディスカッション、面接指導など、キャリア支援センタースタッフの細かい支援を、自宅からオンラインでも受講できる体制を整えています。また、本学のキャリアサポートの特徴は、個別指導が充実していることです。「就職活動生全員を就職させよう」をモットーに、最後まで学生に寄り添いサポートします。

キャリアアップ講座について

ライセンススクールなどの講師の講義や指導が格安で受講できる資格取得・採用試験対策講座。学内で受講する講座だけでなく、自宅からいつでも受講できるオンライン講座も多数揃えています。

「この講座を受ければ合格間違いなし！」
と学生の間で評判の講座もあるほどです。

公務員	教養試験対策[基礎] [完成] 保育専門科目対策
教員	採用試験対策[教養試験] [小学校全科] 採用試験模擬試験
外国語スキル	キャンパス留学 はじめてのTOEIC L&Rコース TOEIC L&R 600点コース TOEIC L&R 730点突破コース
資格	秘書検定[2級] [準1級] MOS検定 簿記検定[3級] [3級・2級W合格] [2級] 宅建 通関士 貿易実務C級 FP3級 ITパスポート

※講座により学内、自宅、学外など受講方法が異なります
詳細はURLかQRコードよりご覧ください
<https://www.kinjo-u.ac.jp/careerup/content/all.pdf>

3年生(5年生)前期

就職活動のスケジュールや業界研究の進め方、スーツの着こなし講座など就職活動の基礎・基本を伝えるガイダンスを実施しています。また自己分析講座やインターンシップ参加に向けた対策講座を行う事で、「自身のキャリアビジョン」について一緒に考えていきます。

3年生(5年生)後期

エントリーシート作成講座や面接対策講座など実践練習を意識したガイダンスを数多く実施しています。1DAY就活全部体験講座では会社説明会から面接試験まで、就職活動の本番さながらの流れを1日で模擬体験できます。提出したエントリーシートの添削やグループディスカッション、集団面接について、講師から個別フィードバックが受けられます。緊張感のある雰囲気の中で、周りと自分の立ち居振る舞いを比較でき、課題を洗い出す絶好の機会です。これまでに培ったマナーなどの知識をアウトプットする場でもあり、実践力が養われます。

就職活動直前期

業界研究セミナーや学内合同企業セミナーなど企業の人事担当者から業界の担う使命や課題、仕事のやりがいについてお話しを伺います。ナビ会社の説明では一般的な話になりがち。「金城生のため」にOGから直接、女性社員の1日のスケジュールや実際の働き方について講演をしていただきます。

就職活動本番

3月1日を過ぎると採用情報が解禁されるのと同時に選考が本格化していきます。個別の相談や添削、面接練習に対応するべく最大17名のスタッフを動員し、学生一人ひとりに寄り添った丁寧な支援を行っています。また面談ごとに記録を残し情報を共有することで、チーム一丸となった就職支援を行っています。

キャリア支援センターの取り組みや就職実績など詳しいについては下記URLかQRコードより『親子就活のススメ』をご覧ください。

<https://www.kinjo-u.ac.jp/document/syukatsu-guardian.pdf>

MESSAGE
学生の自発的な「就業観」を醸成します

金城学院大学
キャリア支援センター

現在の就職活動においてコロナ禍による社会情勢の変化、採用活動の中止、選考のオンライン化、就活の早期化など様々な不安を感じているご父母の方や学生もいらっしゃると思います。希望した会社に入ることが就職活動のゴールでは決してありません。入社はあくまでもスタート。私たちキャリア支援センターではこのような考え方のもと、入社後の活躍や生き方まで見据えた支援に取り組んでいます。

キャリア支援センターの特色は「就業観」の醸成を重視していること。社会人として働いていくうえで、どのような構成が求められるか。それを私たちから一方的に教えるのではなく、学生自ら考え、気づくことが何よりも重要であると考えています。だからこそ私たちは学生一人ひとりに寄り添い、対話を重視した個別支援を徹底しております。これまで対面に限定していた相談対応、エントリーシートの添削指導、面接練習等は電話やWEBでも対応できるよう変更しております。学内の就活イベントにおいても同様に感染状況に左右されず適切な時期に適切な情報が学生へ届くように運営を行っております。対面とWEBの両面による支援の充実をより一層図り、学生それぞれの置かれた状況にしっかりと向き合い、寄り添うことで自ら就業観を育むことのできる支援を実施しています。

合格奨励金制度

キャリア講座を受講して、採用試験や資格試験に合格した方を対象に、奨学金をお渡しします（非常勤・委託・契約の合格を除く）。自己申告制で、合格から3ヵ月以内の申請が必要です。



総会報告

本年度の金城学院大学父母会定期総会は新型コロナウイルス感染防止の観点から、

金城学院大学父母会会則第6条第4項に基づき委員会を総会に代え、2022年6月15日(水)を締切日として書面議決といたしました。

その結果、2021年度の事業報告・決算、2022年度の事業計画・予算など、すべての議案について承認されました。

2021年度事業報告

2022年度事業計画

2021年4月1日(木) コロナウイルスの影響により中止

キリスト教教育について
教育方針等について
学生生活について
大学父母会の活動について

入学式後の
父母対象
大学説明会

2022年4月1日(金)

コロナウイルスの影響により中止

2021年5月21日(金) コロナウイルスの影響により書面議決

役員会
1 総会審議事項の確認
① 2020年度事業報告 ② 2020年度会計報告
③ 2021年度役員・委員候補者 ④ 2021年度事業計画 ⑤ 2021年度予算
2 教育懇談

新旧役員及び
大学役職者の歓送迎会 コロナウイルスの影響により中止

2021年6月2日(水) コロナウイルスの影響により書面議決

総会
① 2020年度事業報告 ② 2020年度会計報告
③ 2021年度役員・委員候補者 ④ 2021年度事業計画 ⑤ 2021年度予算
全体説明会
① 大学の現状報告 ② 就職状況について

金沢/2021年8月21日(土) コロナウイルスの影響により中止

岐阜/2021年8月28日(土)

浜松/2021年9月4日(土)

四日市/2021年9月11日(土)

大学の教育方針・近況等説明

学生生活上の説明

個別懇談(成績関係、就職関係、その他)

2021年10月28日(木) コロナウイルスの影響により中止

講演会
父母会役員・大学役職者とクラス委員との懇談会

2021年12月2日(木)

大学の近況報告

・学長から総会以降の大学の諸活動について報告

父母会活動について

・総会以降の父母会諸活動(地区別懇談会の開催状況、

父母会海外・国内研修助成、学習成果公表助成等)について報告

教育懇談

2022年2月18日(金) コロナウイルスの影響により書面議決

金城学院大学父母会海外・国内研修助成費規程の一部変更について

卒業記念品について

2022年3月18日(金) コロナウイルスの影響により書面議決

金城学院大学父母会論文掲載料助成規程の一部変更について

次年度日程について

入学式後の
父母対象
大学説明会

2022年4月1日(金)

コロナウイルスの影響により中止

役員会

2022年5月20日(金)

コロナウイルスの影響により書面議決

役員会

1 総会審議事項の確認

① 2021年度事業報告 ② 2021年度会計報告

③

2022年度役員・委員候補者 ④ 2022年度事業計画 ⑤ 2022年度予算

2 教育懇談

新旧役員及び
大学役職者の歓送迎会 コロナウイルスの影響により中止

2022年6月1日(水)

コロナウイルスの影響により書面議決

総会

総会

① 2021年度事業報告 ② 2021年度会計報告

③

2022年度役員・委員候補者 ④ 2022年度事業計画 ⑤ 2022年度予算

全体説明会

① 大学の現状報告 ② 就職状況について

地区別懇談会

金沢/2022年8月20日(土) コロナウイルスの影響により中止

岐阜/2022年8月27日(土)

四日市/2022年9月3日(土)

浜松/2022年9月10日(土)

大学の教育方針・近況等説明

学生生活上の説明

個別懇談(成績関係、就職関係、その他)

委員との懇談会

2022年10月27日(木)

講演会

父母会役員・大学役職者とクラス委員との懇談会

定期懇談会

2022年12月1日(木)

大学の近況報告

父母会活動報告について

教育懇談

役員会

2023年2月17日(金)

今年度父母会活動の総括

卒業記念品について

教育懇談

役員会

2023年3月17日(金)、18日(土)

次年度日程について

収入の部	2021年度収支決算			2022年度収支予算		
	決算額	予算額	増減	2022年予算額	2021年予算額	増減
前年度繰越金	33,201,104	33,201,104	0	46,320,054	33,201,104	13,118,950
入会金	7,000円	7,826,000	0	8,729,000	7,826,000	903,000
会費	12,000円	58,878,000	△ 846,000	59,856,000	59,724,000	132,000
雑収入	預金利息	826	100,000	△ 99,174	100,000	0
	合計	99,905,930	100,851,104	△ 945,174	115,005,054	100,851,104
						14,153,950

支出の部	2021年度収支決算			2022年度収支予算		
	決算額	予算額	増減	2022年予算額	2021年予算額	増減
学生教育助成費	1,040,779	4,800,000	△ 3,759,221	4,800,000	4,800,000	0
学生キャリア教育助成費	15,000,000	15,000,000	0	15,000,000	15,000,000	0
学生活動助成費	8,190,790	11,487,800	△ 3,297,010	11,503,200	11,487,800	15,400
学生指導助成費	448,307	2,986,200	△ 2,537,893	2,992,800	2,986,200	6,600
教育研究助成費	13,762,772	15,405,000	△ 1,642,228	16,105,000	15,405,000	700,000
教員研修助成費	0	4,650,000	△ 4,650,000	4,650,000	4,650,000	0
事務研修助成費	1,600,000	1,600,000	0	1,600,000	1,600,000	0
卒業記念事業費	3,000,000	3,000,000	0	4,000,000	3,000,000	1,000,000
環境整備助成費	2,000,000	2,000,000	0	5,000,000	2,000,000	3,000,000
父母会活動費	5,531,348	8,900,000	△ 3,368,652	8,900,000	8,900,000	0
学生施設建設助成積立金	2,000,000	2,000,000	0	2,000,000	2,000,000	0
周年事業積立金	1,000,000	1,000,000	0	1,000,000	1,000,000	0
雑費	11,880	1,000,000	△ 988,120	1,000,000	1,000,000	0
予備費	0	27,022,104	△ 27,022,104	36,454,054	27,022,104	9,431,950
	次年度繰越金	46,320,054	—	46,320,054	—	—
	合計	99,905,930	100,851,104	△ 945,174	115,005,054	100,851,104
						14,153,950

特別会計の部	組入額 合計		
周年事業積立金	2,000,000		

<tbl_r cells="3" ix="2" maxcspan="1" maxrspan="1" usedcols

2021年度 父母会卒業記念品

マーケットパラソルと ガーデンテーブル&チェアを4セット寄贈

2021年度父母会卒業記念品として、周囲の緑に映える白いマーケットパラソル、アイアンのガーデンテーブル&チェアを4セット寄贈しました。キャンパス東側・N3棟前の芝生広場に設置。学内にまたひとつ、くつろぎの空間が生まれました。



奥に見える校舎は左からN1棟・N2棟

ごあいさつ

今年度も引き続き父母会会長を務めさせていただきます西脇と申します。

会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃は父母会の活動に深いご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。大学の取り組みや父母会活動についてご報告させていただく金城学院大学父母会会報誌「Bridge 18号」が完成しましたのでお届けいたします。

2022年度の定期総会は、6月1日(水)に開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症への対応として、通常の定期総会の開催は断念し、金城学院大学父母会会則第6条第4項に基づき、委員会を総会に代えることといたしました。委員の皆様に書面によるご審議をいただきまして、別貞に掲載しております議案につきまして、すべて原案通り承認いただきました。ご協力いただきました皆様に心よりお礼を申し上げます。

大学では、「KMP21(金城学院キャンスマスターplan)」が完了し、学生たちが生き生きとしたキャンパスライフを送るための施設が大変充実いたしました。父母会といましても、総会でご承認いただきました学生施設建設助成などにより、学生のキャンパスアメニティーの充実を支援してまいります。

未だ新型コロナウイルス感染症の影響もあり、大学生活についてご心配なこともおありかと存じますが、大学では、学生の安全を第一に考え、様々な対応をされていると伺っております。どうか皆様におかれましてもこのような状況をご理解いただきたいと存じます。

最後になりましたが、今後も父母会へのご支援を賜りますようお願いするとともに、会員皆様のなお一層のご健勝を心からお祈り申し上げまして、ごあいさつに代えさせていただきます。

金城学院大学父母会 会長
西脇 正導

表紙に
ついて

キャンパス東側 聖書の庭周辺の広場

キャンパス東側の既存樹木や「聖書の庭」を利活用しながら、自然環境の保全やヒートアイランドの緩和に寄与する明るく開放的な景観を創出。グランドカバーとして将来的に緑の絨毯となるようクローバーの種が蒔かれ、N3棟前の芝生広場には開閉式パーゴラテントを2基、ガーデンテーブル4セットが設置されました。憩いの場として日常的に利用する以外にも、屋外での講義、学生たちの自主的なレクリエーションやコミュニティ醸成など、多様で自由な学内活動基盤のひとつとして活用することが期待されます。また、災害時においても重要な役割を担う場となります。



開閉式パーゴラテント



KINJO GAKUIN UNIVERSITY
Parents' Association Report

Bridge vol.18

金城学院大学 父母会会報 ブリッジ 18号
発行日:2022年8月
編集・発行:金城学院大学父母会
〒463-8521 愛知県名古屋市守山区大森2-1723
TEL052-798-0180